



監視用

電動バリフォーカルレンズ搭載

防雨型赤外線暗視 AHD カメラ

型式 TSD-RU6244AF

取扱説明書



目次

1.特徴・	1
2.セット内容・	1
3.安全上のご注意・	2
4.使用上のご注意・	4
5.各部の名称・	5
6.接続例・	6
7.カメラ機能のメニュー設定・	8
7-1 レンズの設定・	8
7-2 露出の設定・	9
7-3 ホワイトバランスの設定・	11
7-4 DAY&NIGHT の設定・	12
7-5 調整・	13
7-6 オートフォーカス・	17
7-7 終了・	17
8.製品仕様・	18
9.寸法図・	19
10.トラブルシューティング・	20
11.修理について・	20

※予告なしにデザイン等が変更になる場合があります。予め、ご了承ください。

この度は弊社製品をご購入頂き誠に有難うございます。

- ご使用の前に、こちらの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「取扱説明書」は大切に保管し、必要なときにお読みください。

1.特 徴

- 510 万画素 CMOS センサー搭載の高解像度 AHD カメラ
- 2.7～12mm の DC タイプ電動オートフォーカスバリアフォーカルレンズを搭載
- 出力する映像信号は AHD/TVI/CVI/CVBS に対応
- 映像出力の解像度を 5M/4M/960H に切り替えが可能
- 赤外線照射機能による夜間撮影も可能（最長照射距離約 30m/赤外線照射時は白黒撮影）
※暗所で良好に撮影が可能な距離は半分程度とお考えください。
- 赤外線照射による乱反射を被写体に合わせて調整するスマート IR 機能
- 2DNR/3DNR（デジタルノイズリダクション）機能により低照度撮影時のノイズを低減
- ミラー機能により、画像を上下左右反転することが可能
- 画像調整機能により、シャープネス/レンズ歪補正/欠陥画素補正/明るさ調整が可能
- Day&Night 機能により、夜間は白黒に自動切替え
- 各機能の設定は、モニター画面上にメニュー画面が表示され、OSD 操作ボタンにて設定
また、UTC 機能対応のレコーダーから、遠隔操作にての画角・焦点調整とメニュー設定も可能
- ホワイトバランス機能 ●オートゲインコントロール機能 ●メニュー表示日本語対応

2.セット内容

ご使用前にセット内容を確認してください。



カメラ本体



AC アダプター



防犯ステッカー



六角レンチ





取付ネジ・プラスチックアンカー各 3




3.安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
 - ご使用者様や周囲の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。
- 以下の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。

 警告	死亡または重傷を負う おそれがある内容	 注意	障害を負うおそれや、物的損害 の発生のおそれがある内容
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------



お守り頂く内容の種類を絵表示で区分けして説明しています。

 してはいけない 内容 (禁止)	 必ず行って頂く 内容 (必ず守る)	 注意しなければ ならない内容 (注意)
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------


警告



- 煙が出る、変な臭いや音がする、高温になるなどの異常を感じた時は、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。
- 機器内部に水や異物が入った場合には、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。感電やケガのおそれがあります。
- 機器を落としたりするなどの強い衝撃を与えた場合、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解したり、改造は絶対に行わないでください。発火したり、異常動作をするおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電するおそれがあります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 電源には、必ず付属のACアダプターを使用してください。他の機器のACアダプターは絶対に使用しないでください。故障や火災の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触らないでください。感電のおそれがあります。

 (注意)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機器内部に水や異物を入れないでください。万が一、水が入ったり、異物が入った場合には、直ぐにコンセントを抜き、電源を切ってください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。 ■ 配線工事は安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。 ■ ACアダプターは、コンセント、機器本体にしっかりと差し込んでください。接触不良が発生したり、隙間に埃がたまり火災の原因となります。ACアダプターは、定期的に取り外して掃除してください。
 (必ず守る)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACアダプターをコンセントから抜く時は、電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って引き抜いてください。感電・ショート・発火のおそれがあります。

注意

 (注意)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヒーターなどの熱源のある場所には設置しないでください。また、直射日光のあたる場所への設置は、できるだけ避けてください。機器内部の温度が上昇すると、故障の原因となります。 ■ 振動のない安定した場所に設置してください。 ■ 落雷の発生が予想される場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。故障の原因となる場合があります。 ■ 製品の表面は、乾いた布で軽く拭いてください。化学薬品や洗剤などは、表面を変質させる場合がありますので、絶対に使用しないでください。 ■ 機器を落下させたり、衝撃を与えないでください。 ■ モーター類などを搭載した機器とは、電源を別系統にして配線してください。また、できるだけ近くには設置しないでください。ノイズなどの影響を受け、録画データや動作に異常が発生する場合があります。
-------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

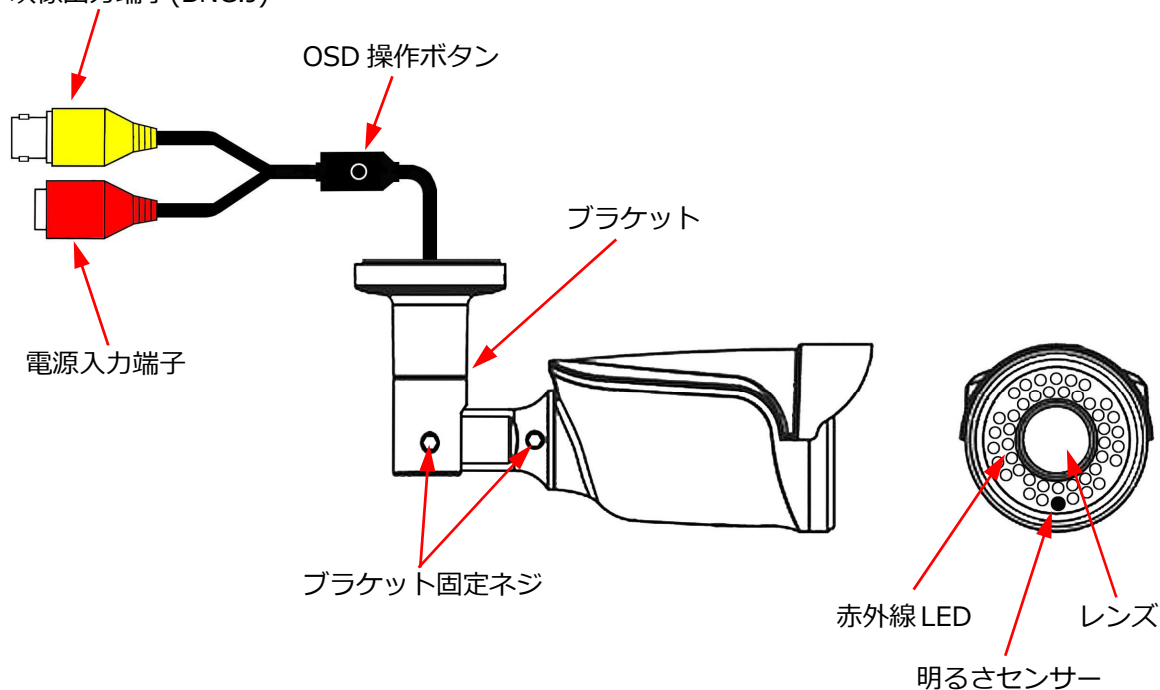
4.使用上のご注意

- 本機の入力規格を超えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
- 正しい接続を行ってください。接続を間違えますと機器にダメージを与えることがあります。
- 本機は完全防水構造ではありません。
強い雨などが直接かかる場所での使用は、できるだけ避けてください。
また、寒暖の差が激しい場所へ設置した場合は、カメラ内部が結露する場合があります。
- 電源の変動や電源ノイズの多い環境、強い電磁波がある環境では、機器の誤動作が発生する危険性がありますので、設置場所を変更するか、必要なノイズ対策（ノイズフィルターや電磁波シールド等）を行ってください。
- 本機を暖房機器の温風が直接あたる場所や直射日光があたる場所への設置は避けてください。
内部の電気部品の寿命を縮める原因になります。
- 本機を密閉した状態で使用しないでください。放熱効果が遮断されるため故障の原因となります。
- 化学薬品や洗剤を使用した清掃は機器を痛める場合があります。
- 高電圧を発生している装置（エアコンの室外機、モーター、コンプレッサーなど）の近くには設置しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
- 太陽光や蛍光灯の光などを直接撮影しないでください。
- 不当な修理や改造は絶対にお止めください。
- 電源には、付属の AC アダプターを必ずご使用ください。
- ノイズなどの影響を避けるため、配線には必ず同軸ケーブルを使用してください。(5CFB 推奨)
- 設置が不十分ですと、落下等の危険がありますので、本機の設置は確実に行ってください。
- 設置後、本機がしっかりと固定され、脱落の危険性がないことを必ずご確認ください。

5.各部の名称

■ 本体 ■

映像出力端子(BNC.J)



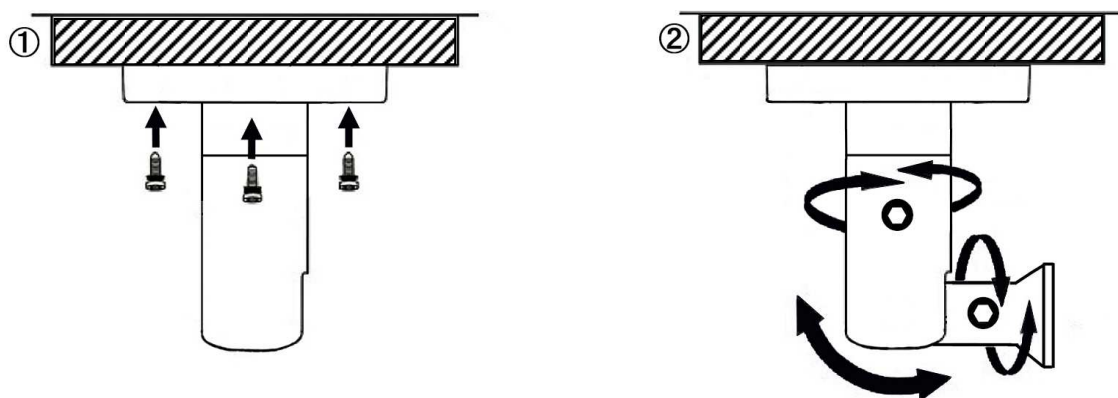
■ OSD 操作ボタン ■



①押す	メニューの表示/メニュー内決定
②UP	メニュー内上移動/レンズのズームイン
③DOWN	メニュー内下移動/レンズのズームアウト
④L	メニュー設定数値変更/メニュー内左移動 焦点の手動調整
⑤R	メニュー設定数値変更/メニュー内右移動 焦点の手動調整

6. 接続例

■ ブラケット部の固定方法 ■



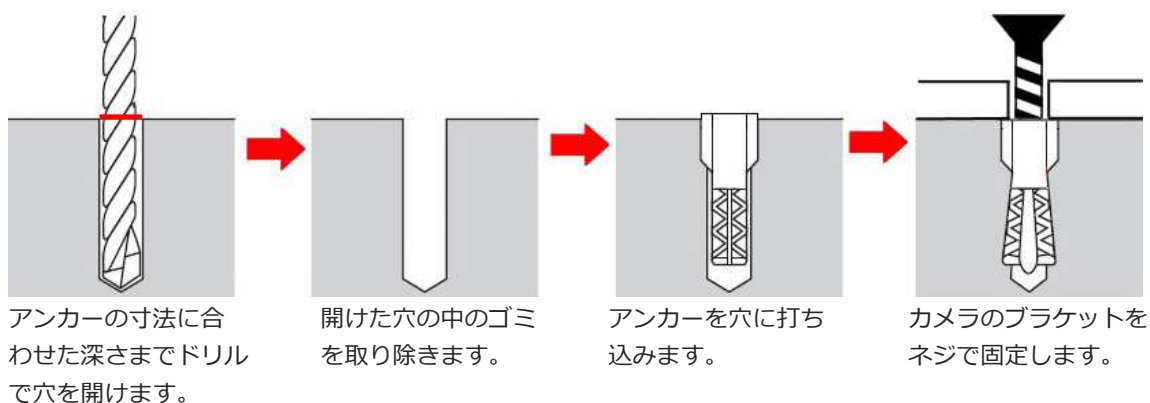
①付属のネジ 3 本にて、ブラケット部を設置面へ固定します。

②付属の六角レンチを使い、ブラケットの固定ネジを 2 ヶ所緩め、カメラの角度を調節します。
カメラの角度が決まったら、ブラケット固定ネジを締め付けます。

※雨の降りかかる屋外に設置する場合は、ブラケットの付根などに防水処理をすることをお勧めします。

■ プラスチックアンカーの使用法 ■

設置面の材質が、石膏ボードやコンクリートなどの場合は、付属のプラスチックアンカーを使用します。



アンカーの寸法に合わせた深さまでドリルで穴を開けます。

開けた穴の中のゴミを取り除きます。

アンカーを穴に打ち込みます。

カメラのブラケットをネジで固定します。

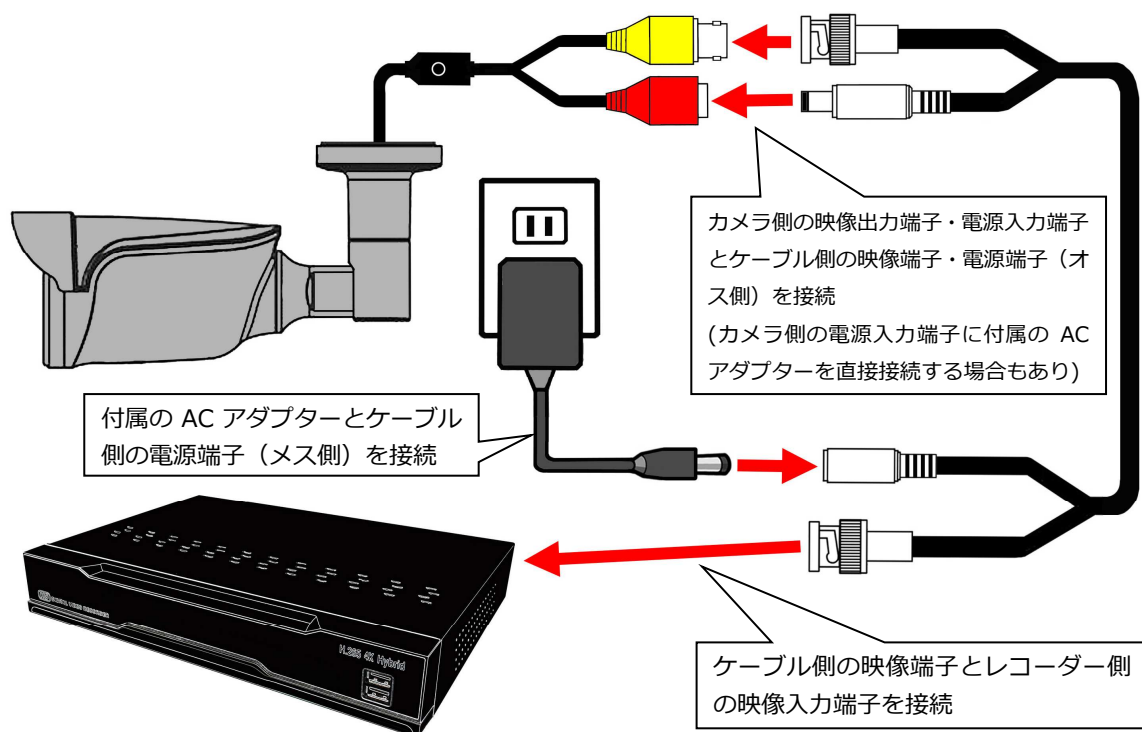
※コンクリートなどに穴を開ける場合は、専用工具を使用してください。

※壁裏が空洞でネジが外れてしまう場合は、市販の中空壁ボードアンカーなどを使用してください。

設置面の材質や構造に合わせて、適したネジやアンカーを使用してください。

■ 配線 ■

カメラ用延長ケーブル「TSD-C20HD/C30HD/C50HD」を使用した場合の配線例



- ・ 付属の取付ネジにてブラケット部を設置面へ固定します。
- ・ カメラ側の映像出力端子からレコーダーの映像入力端子へ配線を接続します。
- ・ カメラ側の電源入力端子へ付属の AC アダプターを接続して、コンセントへ差し込みます。
- ・ ブラケット固定ネジを緩めて、カメラの映像を確認しながらカメラの方向（上下左右）を調整します。

※ハイビジョンカメラを使用する場合は、カメラの映像信号に対応したレコーダーとの接続が必要です。

※赤外線の照射距離は最長で約 30m ですが、暗所で良好に撮影可能な距離は半分程度とお考えください。

※UTC 機能(遠隔操作)を使用する場合は、映像配線に必ず同軸ケーブルを使用してください。(5CFB 推奨)

※ケーブルの配線が屋外になる場合は、雨や直射日光による劣化を考慮して、できるだけ保護材を使用することをお勧めします。特にケーブルの接続部（コネクター）の防水処理はしっかりと行ってください。

屋外配線をする場合は、耐候性、耐熱性に優れた屋外仕様の PF 管やモールを使用してください。

※ケーブルのコネクター部は防水構造ではありません。接続部が屋外になる場合は、市販の自己融着テープなどで、しっかりと防水処理をしてください。防水性能のないビニールテープなどを使用した場合は、コネクター内部に水が浸入して腐食が発生し、故障の原因となる場合があります。

7.カメラ機能のメニュー設定

ご使用前にモニターに表示されるメニュー画面で各機能の設定をする必要があります。
正確な設定を行うことにより目的の撮影が可能となります。

OSD 操作ボタンで、モニターの画面に表示されるメニューにより各機能を設定します。
OSD 操作ボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。



7-1 レンズの設定

カーソルを「レンズ」へ移動させ、OSD 操作ボタンで選択します。

本機のレンズは DC レンズを使用しているため、「DC」を選択します。

「DC」を選択して OSD ボタンを押すと、DC レンズ設定画面が表示されます。



モード	撮影モードを「室外」「FLK」「室内」より選択します。
	最低シャッタースピードと最大シャッタースピードを設定します。 1. MIN SHU. : 1/30、1/60、FLK、1/240、1/480、1/1000、1/2000 1/5000、1/10000、1/50000 より選択 2. MAX SHU. : 1/60、FLK、1/240、1/480、1/1000、1/2000、1/5000 1/10000、1/50000 より選択
IRIS SPEED	アイリスのコントロールスピードを 0～15 にて設定します。 ※通常は、初期設定のまま使用してください。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

※フリッカーが発生する場合は、「FLK」に設定してください。

7-2 露出の設定

カーソルを「露出」へ移動させ、OSD 操作ボタンを押すと、露出設定画面が表示されます。



①シャッター

本機は、DC レンズを使用しているため、露出設定画面での「シャッター」の設定は必要ありません。

②AGC (オートゲインコントロール)

カーソルを「AGC」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で AGC 値を 1～15 にて設定します。イメージセンサーへの入射光量によって信号レベルを制御して出力信号のレベルを一定にする機能です。夜間の撮影に対して有効な機能です。但し、ノイズは増幅されます。

③明るさ

画面の明るさの設定値を 1～100 にて設定します。

カーソルを「明るさ」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で設定します。

④D-WDR (ワイドダイナミックレンジ)

カーソルを「D-WDR」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で「オート」を選択します。

明度の差が大きい場所でも暗い部分と明るい部分の両方を鮮明に撮影することができます。

屋内と屋外を同時に撮影する場合に効果的です。

⑤BACKLIGHT (逆光補正)

カーソルを「BACKLIGHT」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で「BLC」を選択します。

逆光下で撮影する際、露出補正を行い、そのままでは暗く写ってしまう被写体を適切な露出で撮影する機能です。被写体が暗く映ってしまう現象を補正し、鮮明度を改善します。

「BLC」を選択して OSD ボタンを押すと、BLC 設定画面が表示されます。

B L C

▶ ① . レベル

② . エリア

③ . 初期設定

④ . 戻る

L O W

↵

↵

戻る ↵

⑤-1 レベル

BLC の補正レベルを「LOW」「MIDDLE」「HIGH」より選択します。

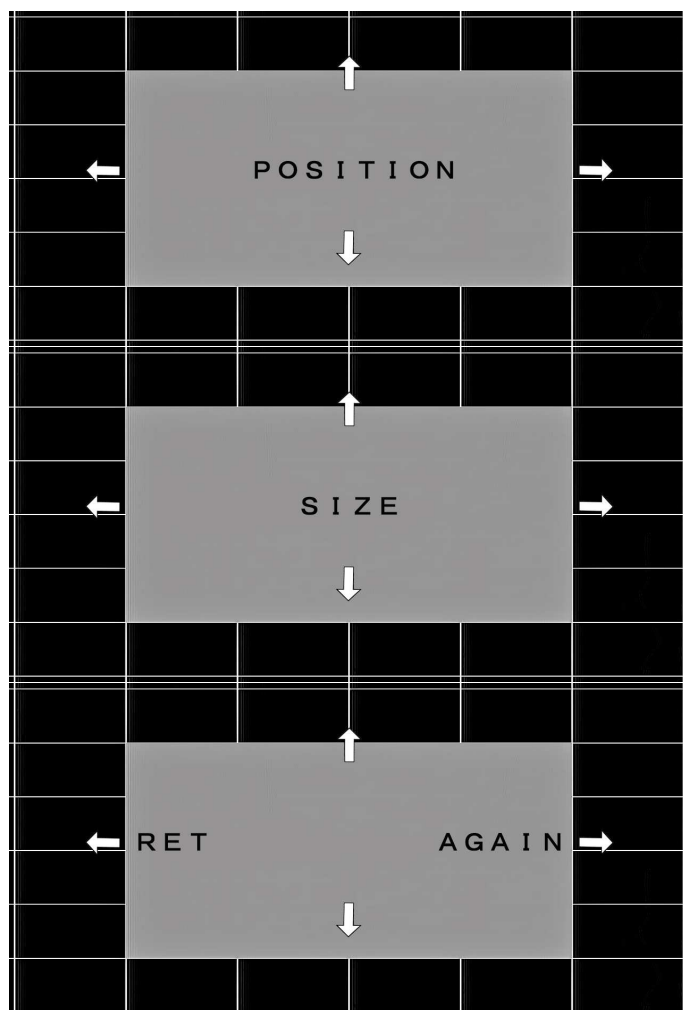
⑤-2 エリア

補正位置（POSITION）と補正範囲（SIZE）を設定します。

カーソルを「エリア」へ移動させ、OSD 操作ボタンを押すと設定画面が表示されます。

補正位置と範囲を OSD 操作ボタンの上下左右操作で調整します。

調整が終わったら、OSD 操作ボタンを押して次の画面へ移動します。



設定が終わったら「RET」を選択します。
設定をやり直す場合は、「AGAIN」を選択します。

⑤-3 初期設定

変更した設定内容を初期値に戻します。

⑤-4 戻る

全ての設定が終わったら、カーソルを「戻る」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で「保存 & 終了」を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

前の画面に戻る場合は、「戻る」を選択します。



BLC ON



BLC OFF

7-3 ホワイトバランスの設定

白い被写体を撮像した時に、白く再現するよう調整する機能です。

カーソルを「ホワイトバランス」へ移動させ、OSD操作ボタンの左右操作で設定を変更します。

①ATW（自動追尾型）

ホワイトバランスが自動調整されます。

②AWC→セット

特定の被写体に合わせてホワイトバランスを調整します。

撮影中に OSD 操作ボタンを押すと自動的に調整されます。

被写体が変わった場合は、再度ホワイトバランスを調整してください。

7-4 DAY&NIGHT(デイ・ナイト機能)の設定

撮影環境が低照度状態（夜間など）になった場合のカラー撮影と白黒撮影の設定です。

低照度状態では、白黒で撮影した方が鮮明な映像が撮影できます。

カーソルを「DAY&NIGHT」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で設定します。

①EXT

赤外線照射に連動して、カラー撮影モード(昼)から白黒撮影モード(夜)へ自動で切り替わります。

本機は、赤外線照射機能を搭載していますので、基本的には、「EXT」に設定して使用します。

「EXT」を選択して、OSD 操作スイッチを押すと、D&N EXT 設定画面が表示されます。



D ⇒ N (DELAY)	昼モードから夜モードに切り替わるタイミングを 0～15 にて設定します。 (数値が低いほど早く切り替わります。)
N ⇒ D (DELAY)	夜モードから昼モードに切り替わるタイミングを 0～15 にて設定します。 (数値が低いほど早く切り替わります。)
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

②オート

低照度状態で、カラー撮影モードから白黒撮影モードへ自動で切り替わります。

「オート」を選択して、OSD 操作スイッチを押すと、D&N AUTO 設定画面が表示されます。



D ⇒ N (AGC)	昼モードから夜モードに切り替わる時の AGC 値を 11～255 にて設定します。
D ⇒ N (DELAY)	昼モードから夜モードに切り替わるタイミングを 0～15 にて設定します。 (数値が低いほど早く切り替わります。)
N ⇒ D (AGC)	夜モードから昼モードに切り替わる時の AGC 値を 1～245 にて設定します。
N ⇒ D (DELAY)	夜モードから昼モードに切り替わるタイミングを 0～15 にて設定します。 (数値が低いほど早く切り替わります。)
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

③カラー

明るさに関係なく、カラー撮影モードに固定します。

④白/黒

明るさに関係なく白黒撮影モードに固定します。

「白/黒」を選択して、OSD 操作スイッチを押すと、D&N BW 設定画面が表示されます。



IR SMART	赤外線を照射した時の映像の白飛びを軽減する機能の ON/OFF を設定します。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

7-5 調整

用途に基づいた画面・映像の調整と設定を行います。



①NR(ノイズリダクション)

映像に現れたノイズをデジタル処理により低減させる機能です。

カーソルを「NR」へ移動させ、OSD 操作ボタンを押すと、NR 設定画面が表示されます。



2DNR	2DNR (2次元) の度合い値を「LOW」「MIDDLE」「HIGH」より選択します。
3DNR	3DNR (3次元) の度合い値を「LOW」「MIDDLE」「HIGH」より選択します。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

②SHARPNESS(シャープネス)

映像のシャープネスを調整する度合いを設定します。

カーソルを「SHARPNESS」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で「LOW」「MIDDLE」「HIGH」より選択します。

③COLOR GAIN

画面の色味調整を行います。

カーソルを「COLOR GAIN」へ移動させ、OSD 操作ボタンを押すと、COLOR GAIN 設定画面が表示されます。



BLUE GAIN	画面の青味値を 0～10 にて設定します。
RED GAIN	画面の赤味値を 0～10 にて設定します。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

④レンズ沈み補正

「ON」を選択すると、均一な明るさで撮影した場合のレンズの中心部と周辺部の明るさの明暗を補正します。

⑤ミラー

映像を上下左右に反転させます。

カーソルを「ミラー」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で設定します。

ミラー	映像が左右に反転します。
V-FLIP	映像が上下に反転します。
回転	映像が上下左右に反転します。

⑥DPC(欠陥画素補正)

画面上のドット欠けをデジタル補正して修正する機能です。

カーソルを「DPC」へ移動させ、OSD 操作ボタンを押すと、DPC 設定画面が表示されます。

D P C

- | | |
|----------------|-------|
| ▶ 1. ライブ欠陥画素補正 | ⊙ N ↵ |
| 2. 白キズ補正 | ○ N ↵ |
| 3. 戻る | 戻る ↵ |

⑥-1 ライブ欠陥画素補正

ライブ映像から赤いドット欠けなどをデジタル自動補正で修正する機能です。

カーソルを「ライブ欠陥画素補正」へ移動させ、「ON」を選択して OSD 操作ボタンを押すと、LIVE DPC 設定画面が表示されます。

L I V E D P C

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ▶ 1. A G C L E V E L | 0000000000000000 1 2 8 |
| 2. L E V E L | 0000000000000000 7 3 |
| 3. 戻る | 戻る ↵ |

AGC LEVEL	AGC レベル値を 0～255 にて設定します。
LEVEL	補正レベル値を 0～100 にて設定します。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

⑥-2 白キズ補正

画面上の白いドット欠けをデジタル補正して修正する機能です。

カーソルを「白キズ補正」へ移動させ、「ON」を選択して OSD 操作ボタンを押すと、白キズ補正設定画面が表示されます。

白キズ補正

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ▶ 1. P O S / S I Z E | ↵ |
| 2. ス タ ー ト | ↵ |
| 3. D P C V I E W | ○ F F |
| 4. レ ベ ル | 0000000000000000 3 2 |
| 5. A G C | 0000000000000000 4 |
| 6. 戻る | 戻る ↵ |

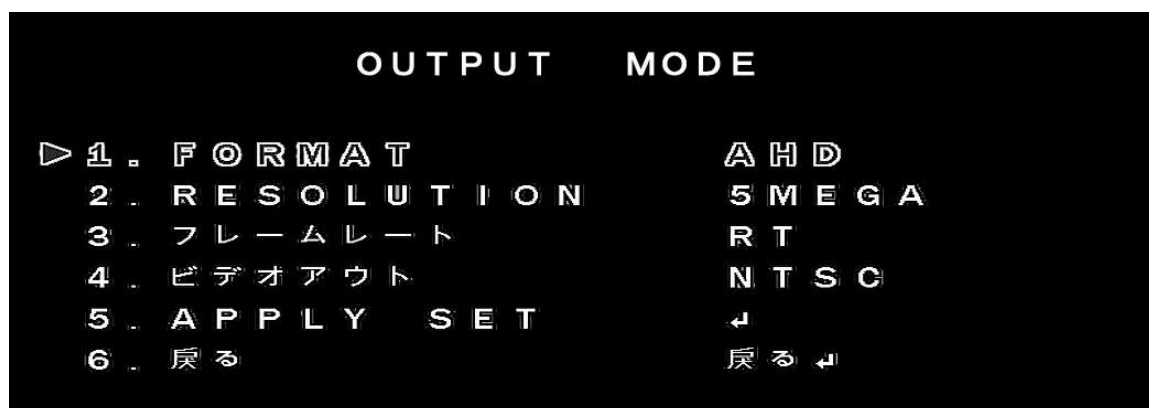
POS/SIZE	OSD 操作ボタンを押して、補正する位置（POSITION）と大きさ（SIZE）を設定します。補正する位置と範囲を OSD 操作ボタンの上下左右操作で調整します。調整が終わったら、OSD 操作ボタンを押して次の画面へ移動します。設定が終わったら「RET」を選択します。 設定をやり直す場合は、「AGAIN」を選択します。
スタート	OSD 操作ボタンを押すと、デジタル補正を開始します。 “CLOSE THE IRIS THEN PRESS ENTER”と表示されますので、レンズ部を手などで覆い、画面全体を黒い状態にしてから OSD 操作ボタンを押すと、補正を開始します。
DPC VIEW	「ON」を選択すると、画面を黒くして、白いドット欠けがあるか確認できます。
レベル	デジタル補正のレベル値を 0～60 にて設定します。
AGC	デジタル補正に対する AGC 値を 0～14 にて設定します。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

⑦言語

画面表示言語を設定します。(13ヶ国語対応)

⑧OUTPUT MODE

映像出力に関する設定です。



FORMAT	出力フォーマットを「AHD」「CHD(CVI)」「THD(TVI)」「CVBS(960H)」より選択します。
RESOLUTION	出力解像度を「5MEGA(500 万画素)」「4MEGA(400 万画素)」より選択します。
フレームレート	出力フレームレートを「RT(20fps)」「NRT(12fps)」より選択します。 (5MEGA 設定時のみ)
ビデオアウト	出力信号を「NTSC」「PAL」より選択します。 ※日本国内では、「NTSC」に設定して使用します。
APPLY SET	設定の変更を適用します。 ※設定の変更後は、必ず「APPLY SET」の操作を行ってください。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

⑨戻る

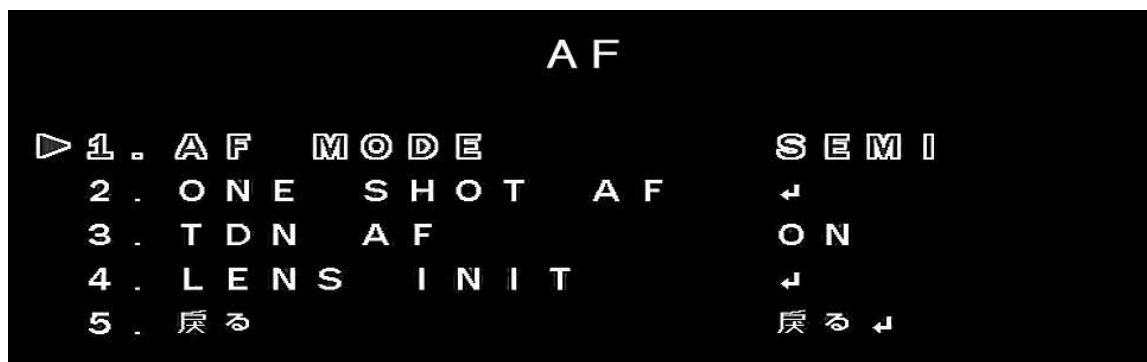
全ての設定が終わったら、カーソルを「戻る」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で「保存 & 終了」を選択し、設定内容を保存してメニュー設定を終了します。

メインメニュー画面に戻る場合は、「戻る」を選択します。

7-6 AF (オートフォーカス)

電動レンズのオートフォーカス設定を行います。

カーソルを「AF」へ移動させ、OSD 操作ボタンを押すと、AF 設定画面が表示されます。



AF MODE	オートフォーカスのモードを選択します。 「SEMI」半自動：ズームイン/ズームアウト操作時のみフォーカスを自動調整 「AUTO」全自動：被写体が変わる毎にフォーカスを自動調整 「マニュアル」手動：手動でフォーカスを調整 ※「AUTO」での使用は、レンズの寿命を縮めますので「SEMI」での使用をお勧めします。
ONE SHOT AF	OSD 操作ボタンを押すと、1 回だけフォーカスを調整します。 フォーカスが合わなくなった場合などに操作してください。
TDN AF	カラーから白黒、白黒からカラーに切り替わったときに焦点を調整します。
LENS INIT	レンズを初期の位置へ戻します。
戻る	「戻る(保存無し)」または「保存&終了」を選択します。

7-7 終了

メニュー設定を終了します。

カーソルを「終了」へ移動させ、OSD 操作ボタンの左右操作で選択します。

保存&終了	設定した全ての項目を保存してメニュー設定を終了します。
リセット	全ての設定を初期化し、出荷状態に戻してメニュー設定を終了します。
保存しない	設定した内容を保存せずにメニュー設定を終了します。

※メニュー画面は、無操作状態から約 30 秒後に自動的に終了します。

8.製品仕様

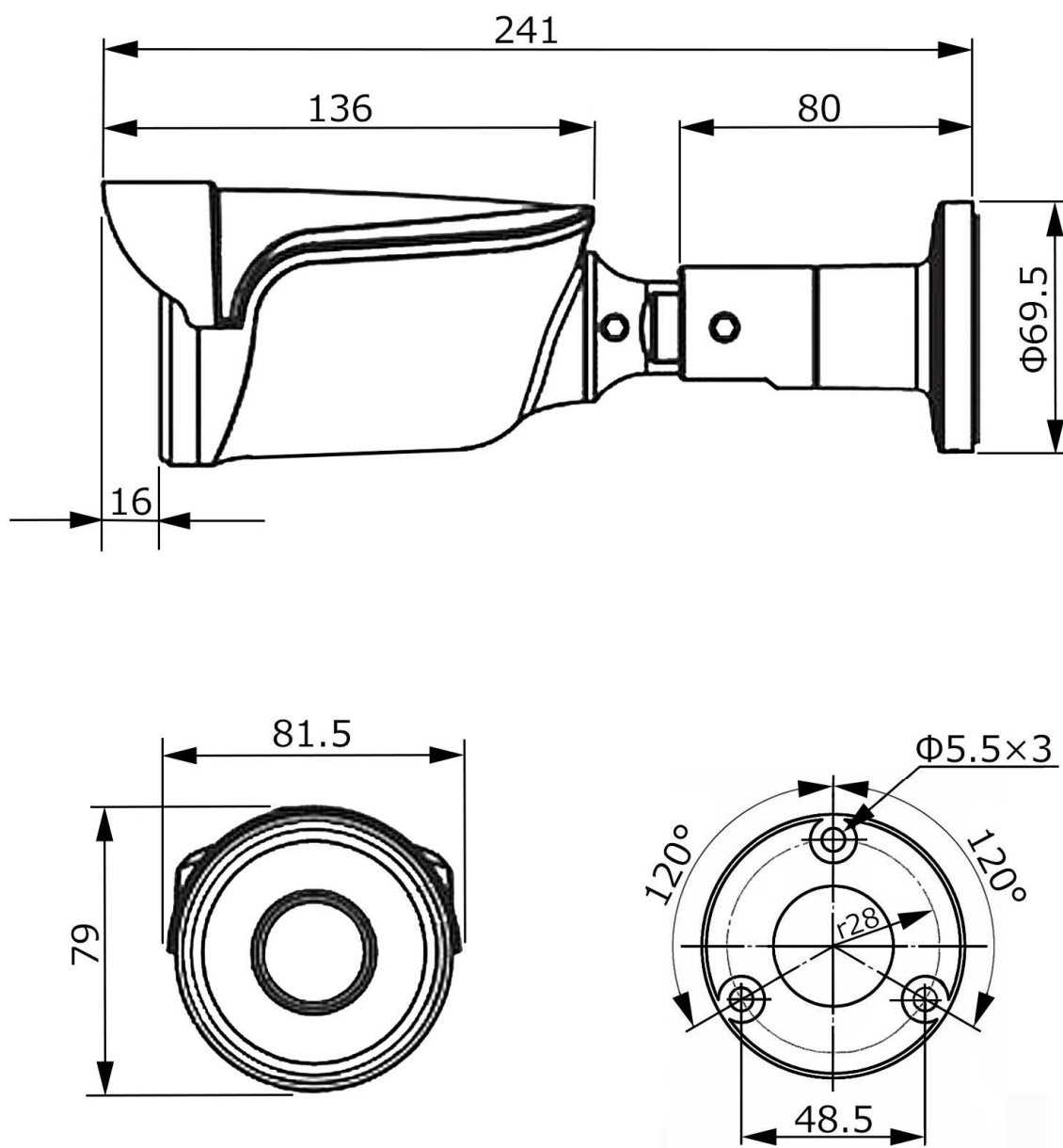
イメージセンサー	1/2.8 インチ カラーCMOS 5.1Megapixel Sony 製
有効画素	2616(H)×1694(V)
レンズ	2.7～12mm (DC Motorize)
視野角	水平 約 108～38°/垂直 約 80～28°
逆光補正機能	BLC ON/OFF
ワイドダイナミックレンジ	D-WDR ON/OFF
映像出力信号	AHD/TVI/CVI/CVBS
出力解像度	5M/4M/960H
映像出力端子	BNC.J×1
最低被写体照度	カラー0.1Lux/白黒 0.08Lux
SN 比	52dB 以上 (AGC OFF)
Day&Night 機能	EXT/オート/カラー/白黒 (ICR)
オートゲインコントロール	Level 0～15
ホワイトバランス	ATW/AWC→セット
シャッタースピード	1/30～1/50,000 秒
ノイズリダクション機能	2DNR&3DNR 3 段階調整
画像調整機能	シャープネス(3 段階)/上下左右反転/レンズ歪補正 欠陥画素補正/明るさ(1～100)
赤外線照射距離	最長約 30m(LED42 個/850nm) SMART IR
防水性能	IP66 (本体のみ)
OSD	日本語対応
電 源	DC12V±1V (センタープラス)
消費電力	最大約 9W(LED OFF 時最大約 4.8W)
ケーブル長	約 0.5m (映像・電源)
本体重量	約 490g
使用動作温度範囲	-10～50℃
付属品	AC アダプター・取付ネジ・六角レンチ・防犯ステッカー

※ハイビジョンカメラを使用する場合は、カメラの信号に対応したレコーダーとの接続が必要です。

※映像配線には、必ず同軸ケーブルを使用してください。(5CFB 推奨)

※電源が 50Hz 地域の蛍光灯付近で使用すると、フリッカー（映像のチラツキ）が発生する場合があります。

9.寸法図



単位 : mm

10.トラブルシューティング

問 題	考えられる対処方法
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・配線が抜けていないか確認してください。 ・モニターにレコーダーの画面は表示していますか？ 表示している場合は、レコーダーの背面の入力端子を差し替えてお試しください。 差し替えて映る場合はレコーダー側の原因、映らない場合はカメラ・ケーブル側の原因が考えられます。
焦点が合わない	<ul style="list-style-type: none"> ・レンズ部の汚れを確認してください。 ・「ONE SHOT AF」機能でレンズの焦点調整をしてください。(17 ページ参照)
夜間映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ・赤外線照射が近くに当たってしまうと周りが暗くなってしまう場合があります。 カメラの向きを調整して改善するか確認してください。 「IR SMART」機能の OFF 設定をお試しください。(13 ページ参照) ・カメラのご使用期間は何年ですか？ 赤外線 LED が赤く光らない場合は、寿命が近い可能性があります。 ・赤外線照射距離は、最大で約 30m です。被写体までの距離を確認してください。
映像が白くぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ・レンズ部の汚れを確認してください。 ・逆光などの太陽光が原因の場合があります。 逆光補正機能や D-WDR 機能をお試しください。(9 ページ参照) ・夜間映像のみが白くぼやける場合は、赤外線照射が強い可能性があります。 カメラの向きの調整または、設置場所の移動をお試しください。
映像がチラつく	<ul style="list-style-type: none"> ・電源の周波数や蛍光灯の影響でフリッカーが発生する場合があります。 「FLK」機能をお試しください。(8 ページ参照)

※解決しない場合は、電源を切り、しばらくしてから電源を再投入して、再度症状を確認してください。

全ての設定を工場出荷時に初期化して、再度症状を確認してください。(17 ページ参照)

問題が解消できない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

11.修理について

- ・不具合の原因が、一時的な誤作動や設定によるもので、物理的な異常が無い場合があります。
修理のご依頼の前に、電源の再起動、設定の初期化をお試しください。
- ・現場への出張修理は行っておりません。保証期間内外を問わず、修理対応はセンドバックとさせていただきます。
- ・破損などの状態により修理ができない場合があります。
- ・部品保有期間切れのため修理ができない場合があります。
- ・修理のご依頼につきましては、ご購入頂きました販売店へご相談ください。

MEMO

免責事項

- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。製品の動作の正常・異常に関わらず、犯罪や事故が発生した場合の損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 製品の設置(取り付け、取り外し)などによって生じた建物などへの損傷や、その他の損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災・水害・地震・落雷などの天災地変及び公害・塩害・ガス害・異常電圧・指定外の使用電源などによる損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の使用または、使用不能から生じる付随的な損害(利益の損失・事業の中断・記録内容の消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

販売元



東進電機工業株式会社

〒389-0505 長野県東御市和 1106-4

TEL:0268(75)7708 FAX:0268(75)8226

2020 年 10 月作成